

2022年8月15日

【代表談話】77年目の終戦の日を迎えて

立憲民主党代表 泉 健太

77年目の終戦の日を迎えました。我が国が経験した先の大戦では三百万余の方々
が家族や故郷、国を想いつつ命を落とされました。本日、国民の皆様とともに心か
らご冥福をお祈りいたします。そして最愛の肉親を失った悲しみ、戦禍に遭われた
苦しみの中で、戦後の復興に歩いてこられた全ての先人に深く敬意を表します。

先の大戦で、我が国は国家の針路を誤り、国民のみならず多くの国々、とりわけ
アジア諸国・地域の人々に多大の損害と苦痛を与えました。私たちはこのことを深
く反省し、二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、あらためて誓います。

世界共通の願いとして、戦争、そして圧迫と隷従のない人類社会を築かねばなり
ません。ロシアによるウクライナ侵攻は断じて許されず、ロシアの即時停戦、即時
撤退を強く求めます。そしてあらゆる戦争、暴力、貧困の撲滅に向け、私たちは取
り組まねばなりません。

本年は、沖縄県の本土復帰50年の節目の年でした。沖縄は、住民を巻き込んだ悲
惨な地上戦が展開され、多くの命と暮らしが奪われ、戦後も米国統治や基地負担に
よって苦しみを受け続けてきた地であり、県民の思いを、全ての国民が受け止めね
ばなりません。未だ、米軍基地面積の約7割は沖縄に集中しており、県民の負担軽
減、安全確保等を進めねばなりません。

私たちは、平和主義を掲げる憲法のもと、戦後歩んできた平和と繁栄の道をこれ
からも守り続けましょう。非核三原則を壊す「核共有」や際限なき集団的自衛権の
拡大、シビリアンコントロールの形骸化など、立憲主義、平和主義を脅かす動きを
見過ごすことはできません。

立憲民主党は、立憲主義、平和主義、そして現実的な国家安全保障を重視する政
党です。

我が国を取り巻く中国、ロシア、北朝鮮など周辺国の動向には常に目を配り、我
が国の安全保障環境を現実的に着実に構築してまいります。

同時に、国際協調と対話外交を旨とし、経済、開発、人権、環境、軍縮などの面
で世界に信頼される国際貢献に取り組む決意です。

立憲民主党は、戦没者の御霊の安らかならんこと、ご遺族の皆様のご平安を心か
らお祈り申し上げます。そして、平和を守り続けることをお誓い申し上げます。

以上